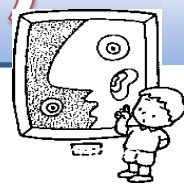


美術を学ぶ君たちへ（2年生）



今、この状況でもできる美術の学び

学校で一緒に学べなくても 美術の基礎的な学習を進められることができます。

今までと違う時間の中で

身の回りにある美しい物をじっくりと見て形や色の良さや美しさに着目し、考えましょう。そこで発見したことに「わくわく」、「ドキドキ」して自分の心を育ててみませんか。その活動が美術の学びを深める基本的な力につながります。

「人工知能（AI）がどれだけ進化しても、目的の良さ・正しさ・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強みである」と言われています。美術を通して学んだ資質・能力は未来を豊かに生き抜く力を育てることに深く関係しています。

学校が始まれば

君たちが題材を通して考え、造形的な見方・考え方を働かせながら、人間の強みを伸ばし、鍛えていく沢山の学習が始まります。今までと同じように、単に美しい作品を作るだけでなく、一人ひとりが課題の中でそれぞれに思いを描いたゴールに向かって、自分なりの根拠や詳しい理由を見つけていきましょう。

学校が始まらない今は

自宅でできる美術の基本的な力を伸ばす「自分の中のよさや美しさを感じる心を見つける造形的な見方・考え方を育てる題材」に取り組みましょう。

2年生の君たちは



題材ごとに学習の**めあて**があります。

学びの意識をもって取り組みましょう。

これまで学習した「見方や考え方」を基に少し視野を広げて自分を取り巻く社会にも関心を持ち、他の人ならどう感じるかなど、より深く考えましょう。そして、自分が感じたこと考えたことは伝えられるよう具体的な理由を含めて言葉で伝えられるようにまとめましょう。

美術の力を自分で育てよう

はじめに

美術の学習は、自分自身が「これがいい、こうしたい」という思い(主題)を持つことが大切です。取り組みの中では、まずその気持ちをつくっていきましょう。

めあてを持てるよう、**学びの視点や学び方の視点、学び方のポイントやヒント**などを紹介していますので、目当てをもって取り組んでみましょう。

課題1

発想の力を広げるために「美しいものや面白いと感じるもの」をスクラップブックに貯金しよう。A4サイズ、おもて側のみで1~5枚程度取り組みましょう。1ページにたくさん貼ってよいし、スケッチブックがあれば貼りましょう。

学びの視点 発想の力

発想力を養うには、いろいろなものの良さや美しさに気付くことから、「いいな・美しいな」と感じる力を育てることが大切です。写真でも、雑誌の切り抜きでもお菓子の包み紙でも構いません。あなたが「お！」と思ったら切り取って貼りましょう。(レポート用紙など罫線の入ったものでも構いません)



* 学び方のポイント

身の回りにあるものをよく見てみよう。写真でも、包み紙でも、文字が書いてあってもなくても、「いいな」と思うものでよいのです。切り離せないものはコピーをとったりプリントしてもいいでしょう。

課題2

鑑賞する力を伸ばすために、スクラップして貯金した「美しいものや面白いと感じるもの」の切り抜きをじっくり観て感じたことを書きましょう。

学びの視点 鑑賞の力

鑑賞はあなたが主役です、良さや美しさを自由に感じて楽しみましょう。鑑賞力を養うには、いろいろなものの良さや美しさに気づき、じっくり見つめながらイメージを膨らませること、自分なりに価値を見出すことが助けになります。下の見方・考え方をもとにあなたが選んだものの中にある美しさをじっくりみつめ、その中から感じ取った良さや美しさをもたらす理由を文にしましょう。

見方:どんな色や形が、どのようになっているから「いいな、美しいな」と思うのだろう? 特に好きだなと思う部分に着目してみよう。

考え方:そこからどのようなイメージがわくのだろう? どんな気持ちになるだろう? **それらはなぜそう思うのだろう?**

提出:「1番の推し」を授業内でスピーチしてもらいます☆



* 学び方のポイント

「この色、この形」などバラバラに注目しても良いですね。「いいかんじだから」のいい感じはどこから感じるのか、何かと比べたり記憶をたどってみたりしながら自分の心の中の“好き”の理由を探ってみましょう。文章にならなければ、まず箇条書きからやってみましょう。

課題3

思い通りに表現をする力を伸ばすために、1, 2で選択したものから「1番の推し」を選びその中にある色彩を、5色から10色くらいに分けてハンティングしてみましょう。

あなたが美しいと感じた色彩はどんな色をどれくらい混ぜ合わせればつくりだせますか？ 絵具と白い紙を準備します。縦8センチ・横2センチくらいの短冊状にして多めに準備し、近い色が出せるまで分析したり研究したりしてみましょう。

このとき、試し用の紙は別にします。あとで短冊は切り離すので、たくさん実験したい場合は長さがあるほうが便利ですよ、自分なりに決めて取り組もう。

学びの視点 活動を伴った鑑賞の力

あなたが好きな色は、何色が組み合わされて作られているのかいろいろ試して発見してみよう。



例1 例2



注目する部分の違いで色は変わってよい

取り組み方法 * 学び方のポイント

1、試し紙に塗って、少し待って乾かしてから、つくりたかった色になっているか見本と比べ、確かめてみよう。

* なにか仕組みや発見があるか考えながら取り組み、発見はメモをとるなどして記録し覚えておこう。

2、乾かして確かめた色がおおよそ同じになったら用意した短冊に塗ってみよう。(画用紙でなくともよい)

* その際、量や塗り方、塗る紙の質などから発見したこともメモをとるなどして記録し覚えておこう。

3、出来上がった短冊を大体正方形に切り離し、様々に組み合わせの配色表を作ってみよう。どんな組み合わせが一番「いいな、美しいな」と感じるだろう。

* 組み合わせの数は不問、まずは2色から始めて増やしてみよう。

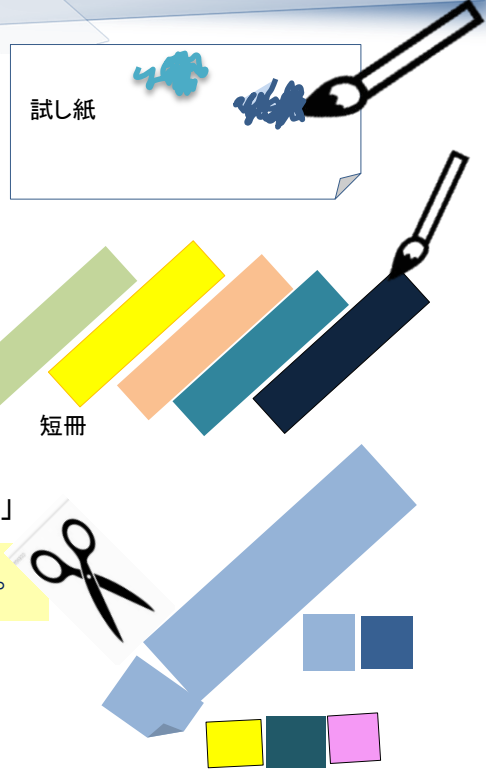
4、組み合わせた色たちワークシートやスケッチブック、レポート用紙などに貼り、①～③の質問に答えましょう。

① 組み合わせた配色表は、どんなイメージを持っていますか？

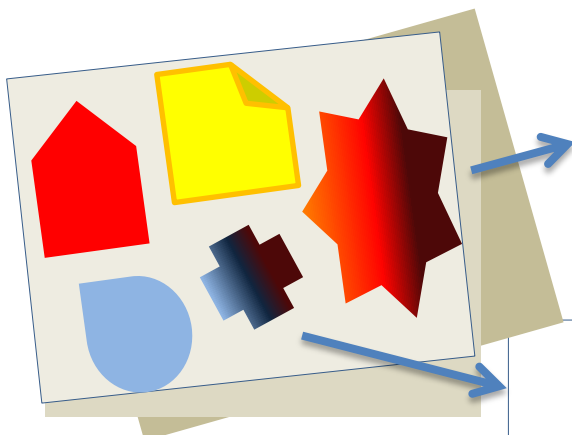
② 身の回りのどんな場面で発見したり、使用されたりしていますか？ それはなぜだと思いますか？ 使われてる場面が思いつかない場合は、ふさわしい活用場面となぜそう思うのか理由を考えてみよう。

* もともとの「推しの一枚」そのものにとらわれず、自由に考えを広げて書き込んでみよう。キーワードは **なぜ？**

③ ①～③をふまえて、配色に名前を付けるとしたら？



1つ以上取り組んでも良いです
考える楽しみを発見したら自由に書き込むことを増やしたり、その色を使って何か描いてみたりしても楽しいですね



私の一押しの配色

- ① ●×△なイメージがわきます、……その理由
なぜなら
●×△□●×△□●×△●×△●×△□□……から感じているんだと思います。
- ② 場面
●×△□な場面で使われているのをみました。たぶん……な理由だと感じました
- ③ 配色名
「……………☆☆☆カラー」と名付けます



①私の一押しの配色はこのグループ……………

課題4

自分の考えをよりよく伝えるためのデザインの力に気づき、チャレンジしよう。

まずはNHK教育チャンネルの“デザインあ”を観て、文字の形が持つ力を確認したら、課題1の中でスクラップしてあるものの中や、普段は捨ててしまう包み紙等をよく観察し下の問いに移りましょう。

デザインあ

「明朝さんとゴシックさん」

<http://www.nhk.or.jp/design-ah/mincho-gothic/>

5分版 Eテレ 月～金 午前7:25～

学びの視点 伝えるデザインの鑑賞と発想

伝える力は発想力とつながると大きな力を発揮します。あなたが目にするロゴデザインの中には、相手にこんなイメージを持たせたいという企業や作者、デザイナーの思いや願い、ストーリーが込められています。

実践に入る前に、身の回りの中にあるロゴデザインにどんなイメージが込められているのか、どんな可能性や作者の自由な発想があるのか発見し、次に自分もデザインを考えてみましょう。

取り組み方法

1、ロゴデザインの研究

気になる文字デザインを写真に撮ったり切り取ったりしてレポート用紙などに貼りつけ、文字の形や色が自分にどんなメッセージを伝えているか読み取ってロゴの横や下に書きましょう。



* マンガのタイトル文字、お菓子の入れ物、包装紙、商品のパックにも描いてある文字の形や色が何を表しているのか、本や漫画ならストーリーと、商品なら中身と照らし合わせて考えてみよう。いくつ取り組んでも構いません。

2、オリジナルロゴデザイン

- ① もしも自分が「 _____ 」ロゴデザインをしたら、と「 _____ 」内のテーマを自由に決め、デザインを考えて色鉛筆等で表現しよう。
用紙に10×10cmの枠を作り、その下には相手に伝えたかったロゴデザインの意味を詳しく書こう。コンパスや定規など積極的に使おう。



* 自分なりのストーリーや設定が大切です。テーマが決められなければ、この中からヒントを得ても選んでも構いません。
・任意のフルーツ味のキャンディー ・甘い、辛い菓子、ドリンクなど
・せつない恋の物語 ・スポーツ関係 ・アクション ・要望したいこと 等



* 画面にいきなり描かず、ほかの紙にアイデアをいくつか発想して簡単に描き、組み合わせたり省いたりと考えをまとめてから本番を描こう。
・どんな道具を使うと、美しく表現できるか計画を立てよう
・形のバランスや配色は課題1～3で学んだことを生かそう

- ② あなたの考えたロゴデザインに込めた思いや願いを、形の意味、この配色を選んだ意味など含めて詳しく書こう。



* うまくいかなかった場合は、「もっとこうなったらいいかもしれない」という改善案を書き加えましょう。考える力は次につながります。

ロゴデザインの研究

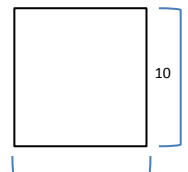


.....
.....
.....



.....
.....
.....

オリジナルロゴデザイン



.....
.....
.....
.....

学校が始まったら

授業の中で、絵の具を思い通りに使う方法や、美しく表す方法などを教わることが出来ます。家でもできる「なぜだろう」「知りたい」「こうしたい」をたくさん増やして世界を広げておいてくださいね。

「素敵なデザインを見つけよう」 (鑑賞)

普段何気なく見ているものにはたくさんのデザインの工夫がされています。自分の近くにあるものからデザインの良さや効果を感じ取れる活動をしてみましょう。

課題1

これって素敵、これ面白い、これ工夫されているなどデザインに色や形に特徴があるものを集めてみよう。

学びの視点 ⇨ 身の回りにある物からその色や形の働きや美しさを見つけ、感じ取る力を付けて発想力を養いましょう。

※ポイント

何かを見つけてみようという気持ちになって見回してみましょう。今まで気が付かなかった新しい発見があるかもしれません。パッケージや包み紙、雑誌の切り抜き、コピーや写真などでも良いです。パソコン使ったものもOKです。A4の紙に見やすく貼り付けてストックしましょう。(使っていないノートやレポート用紙など家にあるものでよいです。A4でなくてもOKです)

課題2

集めたものから色や形がもたらす効果に注目し、その特徴について自分が感じたこと考えたことを言葉で伝えられるようにまとめましょう。集めたものにその説明を付箋やメモに書いて見やすく貼り付けましょう。

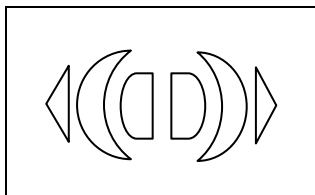
学びの視点 ⇨ 集めたものの中から色や形の良さや効果などを自分なりの見方で見つけてみましょう。自分で発見することで鑑賞の力をアップさせることができます。

※ポイント

集めたものはあなたにとって大切なアイデアのデータバンクです。その中から感じ取ったことをまとめることで鑑賞の力を付けることに役立ちます。どこに気が付いたか、どのような特徴が見つけれられたか、共通点や違いなど様々な視点で見ることによって視点の幅も広がります。他の人に説明できるようにすることで自分の中でもやもやしていたこともはっきりとして、明確な自分の考えになってきます。集めた資料に付箋やメモを貼り付けて自分でできる方法でまとめてみましょう。家族で話題にして意見を参考にするとよいでしょう。

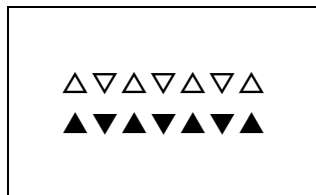
参考ページ → 「構成美の要素」(資 P 6 3) ※資料集がなくても、このプリントだけで取り組みます

シンメトリー



↑ 点や線や面を中心にして、
左右上下が対応する

リピテーション



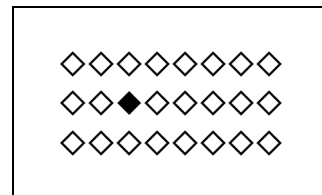
↑ 同じ形を規則的に繰り返す

グラデーション



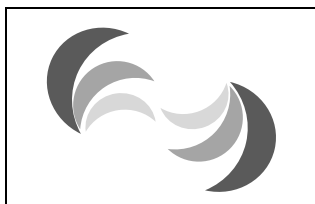
↑ 形や色が一定の割合で段階的に変化する

アクセント



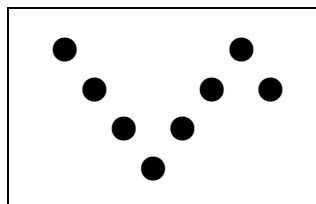
↑ 形や色の効果によって部分を強調し、全体を引き締める

ムーブメント



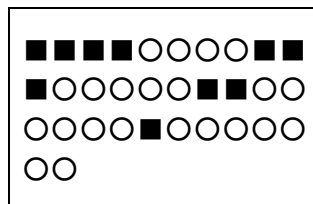
↑ 形や色の変化により動きを感じさせる状態

リズム



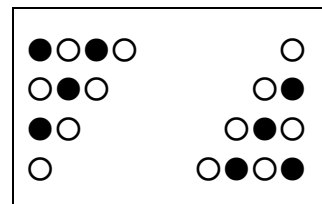
↑ 形や色の連続的な変化やくり返しから受ける動き

コントラスト



↑ 性質が反対の形や色を組み合わせて効果を出す

バランス



↑ つり合いがとれている状態

課題 1 身の回りにある「構成美の要素」を探して、要素ごとに分類してスケッチブックに貼りましょう。

(ノートやレポート用紙でも OK) 例：お菓子などのパッケージ、新聞広告、包装紙、風景の写真など

課題 2 課題 1 で集めた資料を参考に、「構成美の要素」を使って、下のわくに「季節」をテーマにしてデザインを描きましょう。

※わくは、横でも縦でもどの方向で使用してもよいです。そして、別用紙に取り組んでもよいです。(提出は何枚でも OK！)

作品の説明

作品名 _____ : 季節 _____

使用した構成美の要素

2年 組 番 : 名前